

文部科学省 新規高等学校卒業者の就職状況

高校生の就職率は98.0%

文部科学省「令和5年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況(令和5年3月末現在)に関する調査」によると、今卒業予定で就職を希望していた高校生の就職率は98.0%であることがわかった(前年同期比0.1ポイント増)。男女別では、男子98.4%(前年同期比同)、女子97.3%(前年同期比0.3ポイント増)だった。

※ 本調査は、厚生労働省実施の調査とは異なり、学校等の紹介を希望しない自営業者や公務員などを含め就職を希望する者全員を対象としていることから、母集団が大きくなっている

① 就職率は98.0%で、前年同期から0.1ポイント増の結果であることがわかった。卒業者は968,303人、そのうち就職希望者は137,843人で、その割合は14.2%だった。

② 就職希望者のうち、就職者は135,035人、未就職者は2,808人(前年同期の未就職者は3,089人)。

③ 男女別就職率

男子 98.4%(前年同期比同) 女子 97.3%(前年同期比0.3ポイント増)

④ 学科別内就職率(高い順、かっこ内は昨年同期比増減)

工業: 99.3%(▲0.1ポイント)	看護: 98.6%(▲0.3ポイント)
情報: 99.1%(1.5ポイント)	家庭: 98.4%(0.5ポイント)
農業: 98.7%(▲0.1ポイント)	福祉: 98.4%(0.3ポイント)
商業: 98.7%(▲0.3ポイント)	総合学科: 97.6%(▲0.3ポイント)
水産: 98.6%(▲0.6ポイント)	普通: 96.3%(0.5ポイント)

※ 「その他」の学科は除く。看護に関する学科は看護師5年一貫課程が主となるため、5年課程5年次の就職率を示している(25年度より、3年課程3年次、5年課程3年次と分けて集計)

⑤ 都道府県別就職率(かっこ内は昨年同期比増減)。

《内定率が高い順》

富山県	100.0%(0.3ポイント)
福井県	100.0%(0.2ポイント)
山口県	99.7%(▲0.1ポイント)
香川県	99.6%(0.7ポイント)
福島県	99.6%(昨年同期比同)
長崎県	99.6%(0.7ポイント)
大分県	99.6%(0.7ポイント)

《内定率が低い順》

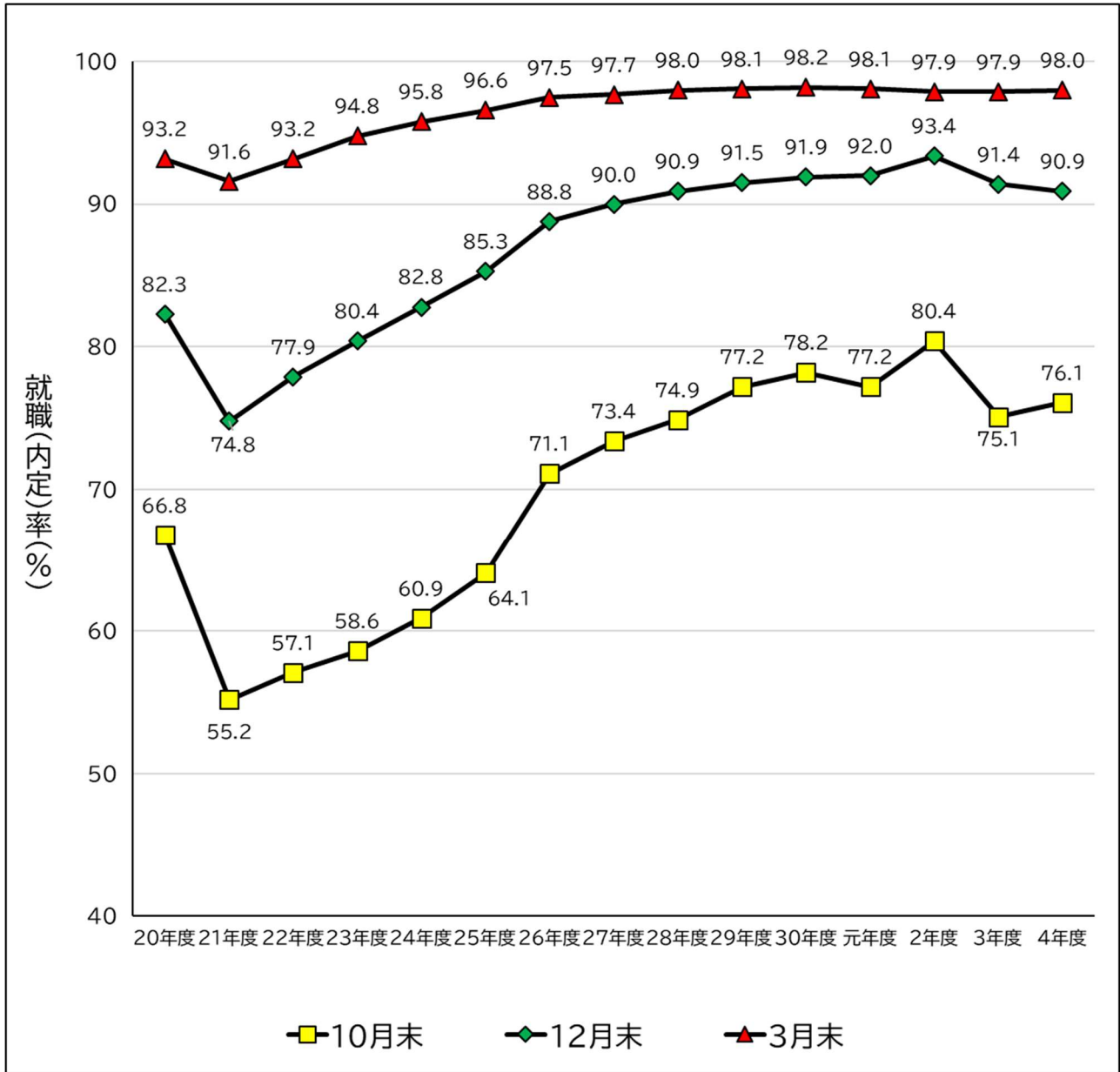
沖縄県	91.7%(▲1.0ポイント)
神奈川県	92.1%(▲1.9ポイント)
東京都	95.4%(▲1.1ポイント)
大阪府	95.6%(0.5ポイント)
千葉県	96.2%(1.6ポイント)
奈良県	96.4%(▲1.1ポイント)

⑤ 都道府県別就職率(つづき)

前年同期比増減をみると、22都県で減少した。全都道府県のなかで減少が大きかったのは、神奈川県でマイナス1.9ポイント、東京都と奈良県でマイナス1.1ポイント、徳島県と沖縄県でマイナス1.0ポイントだった。

一方、就職率のアップが顕著だったのは、千葉県で1.6ポイント(今年度:96.2% 昨年度:94.6%)、滋賀県で同じく1.6ポイント(今年度:97.9% 昨年度:96.3%)だった。

【新規高等学校卒業(予定)者の就職(内定)状況】



(注) 平成22年度卒業者の平成23年3月末現在の就職状況については、東日本大震災の影響により調査が困難とする岩手県の5校および福島県の5校は、調査から除外。